

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス インクル		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	99	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		
○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年、積み重ねてきた経験と活動プログラムがある。	これまでの活動や内容がそのままにならないように変化をつけるようにしている。	最近の情報や流行も取り入れられるように、職員自身も様々な情報を吸収していくことが必要。
2	様々な職種、経験を積み重ねた職員がいるため、困った時や心配なことがあった時にアドバイスをもらうことができる。	困った時や疑問に思った時に相談できるようにしている。会議の時間を設けて職員が顔を合わせて話せる場がある。	決められた時間や場所以外でも相談できる環境や関係性を作っていくことが必要。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員の確保が難しい。	規定の人員は満たしており、グループ活動時でも対応できるように配置しているが、余裕を持った関わりや介入に対しては、十分ではないことがある。	新規採用の検討、活動の仕方や内容について工夫していく、お子さんへの対応の仕方について職員間で同じ認識で対応していく。
2	父母の会や保護者同士の交流の場がない。	通常の個別支援やグループ支援の中ではご家族の交流の場を設定することが難しい。	茶話会のような交流できる場の設定が望まれるが、お子さんの利用時間ないで実施するのか、時間をずらす場合は対応できる職員がいるのかを検討することが必要。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス インクル

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 99名

回収数 22名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2			・活動人数が多いと少し手狭に感じる。	敷地内の園の行事や活動内容によっては通常の部屋の確保が難しいことがあり、ご不便をおかけしております。活動内容によっては、敷地内の園のホールや公共施設等を利用し、様々な活動ができるよう、今後も工夫していきたいと存じます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		2		10人以下のグループの際には3人の職員を配置しておりますが、個別に対応する必要がある際には十分に対応できないこともあったかと思えます。活動内容や状況に合わせての職員の配置を検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			2		グループの活動場所等、視覚的な手がかりを用いながらの活動を心がけていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2			・楽しく活動には参加できているが、どの程度伸びているかは正直分からない。 ・活動の狙いなどを利用者伝えて、それを踏まえて活動に入るなどすればよりよくなるのではと思う。	・
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		ホームページ上に支援プログラムを公表しておりますが、掲示等も検討していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	2				お子さんとご家族のニーズに合わせた計画の作成を心がけていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1		計画の説明や共有について、十分ではない点があるかと思われるため、説明や共有等、検討していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1		2	・グループワークという性質上、必ずしも個々人にそった支援が行うのは難しいと思う。	グループ活動の中では、お子さんに合わせた声かけの仕方や活動への促し方を職員間で共有し、工夫しております。ご家族へのフィードバックの仕方と検討したいと思います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	4		2		利用児の意向も汲み取りつつ、様々な経験ができるよう心がけています。繰り返し行う活動については少しずつ変化をつけ、ステップアップできるように検討しています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	5	8		今年度はバスケットボール等、グループや活動の内容によっては、るーてる学童のお子さんと一緒に活動する機会を設定しました。	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	3				今年度は契約書等の変更があり、お手数をおかけしました。料金設定等の変更がありましたら、再度お知らせいたします。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				計画の説明や共有について、十分ではない点があるかと思われるため、説明や共有等、検討していきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4		6		年に1度、ワークショップを開催し、インクルーシブについての講演会を行っています。また、小学校高学年のお子さんについては、中学校に進学した保護者の方との交流会を開催しました。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21			1		・アプリを導入してもらって連絡が取りやすくなりました	ご家族からご家庭や学校での出来事を教えていただき、ありがたく思っております。グループ中の様子等もできるだけ共有していきたいと思えます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4					個別支援では支援の前後にお話をする時間がありますが、グループ支援では十分にお話することができないことがあります。電話やメール、別日を設定するなど、取り組み方を工夫してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	2	8		・今後そういう機会があればと思います。	小学校高学年のお子さんについては、中学校に進学した保護者の方との交流会を開催しました。きょうだいの方の交流の機会が少ないため、今後検討していきたいと存じます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21						
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1					ご家族の方との連絡には、アプリを通して連絡がとれるようにいたしました。些細なことでも構いませんので、いつでもご連絡をいただければと存じます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2		6			夏休み、春休みの活動等、通常の支援以外の活動後の報告していきたいと存じます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2					『個人情報保護に関する基本方針』に基づき、個人情報の保護に努めていますが、お気づきの点があればお知らせ下さい。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		4			各マニュアルを策定し、定期的に訓練や研修を行うことで、緊急時や災害時の対応について職員間の共通理解を図っています。感染症についてはお知らせを必要に応じて配布しておりますが、その他のマニュアル等についても保護者の方が確認できるよう、情報提供の仕方を検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		7			グリーンローズでは、月1回、様々な災害を想定した避難訓練を行っています。時間帯や曜日によって、インクルを利用しているお子さんにも参加していただいています。

対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2		3		活動を計画する際には、危険がないよういくつかの場面を想定して準備することを心がけていますが、その際の連絡体制の仕方については、ご家族と十分に共有できていませんでした。怪我等については随時ご家族の方と共有しておりますが、ご家族が同席されない場合の連絡体制についても確認していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			・行き渋りもなく毎回楽しく活動に参加させてもらっています。	今後も、皆さんが意欲的に参加していただける活動を企画していきたいと思っています。また、限られた支援時間ではありますがお子さんのみでなく保護者の皆様にとりましても安心して通っていただける場となるよう、工夫・改善を重ねて参りたいと存じます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス インクル		公表日	令和8年3月1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		利用児の人数や活動の内容に合わせて使用する部屋を検討し、十分な広さを確保できるよう、心がけている。	同敷地内のオリブ園や保育園の活動や行事によっては、通常の活動場所を確保することが難しいことがあるため、把握できるものは事前に確認、活動内容を決める際に考慮していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			その日の利用定員によっては、職員の手が足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		スロープや手すりの配慮はされているが、2階への移動手段が階段のみなため、移動の困難な場合の対応策を講じている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		年に1度評価表を実施し、HPで公開している。また、集団活動や行事等では保護者の方からの感想やご意見をいただいている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないよう、お子さんの意見を取り入れながらプログラムを立案している。繰り返し行う活動については少しずつステップアップできるように検討している。	活動には積み重ねも必要なため、同じような課題でも変化をつけていくことが必要。また、どう変化させていくかを職員が共通認識していくことが望まれる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	3			放課後等デイサービスのガイドラインについて、新しく入職した職員にも、漏れなく伝えられる体制づくりが必要。
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		活動の内容によっては、近隣の学童保育の児童と一緒に活動する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
保護者への説明	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		グループによっては、保護者同士が話す機会を設けた。兄弟同士の交流の場はないが、グループ活動と一緒に参加をすることは可能。	

明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		クッキングの際はアレルギーの有無など、保護者に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			避難訓練や施設内街の安全点検は定期的に行なっているが、職員間での周知、確認が十分でないことがあるため、周知方法の検討が必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			送迎時や課外活動時の安全確保については、年度によって想定外の状況も発生することがあるため、定期的に見直し、職員が変わっても確認しやすい形に整えて行くことが必要。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				